

西表島のマングローブ

(副次的な構成種)

サキシマスオウノキ *Heritiera littoralis*



板根



葉



花



実

特徴
 根：板根と呼ばれる発達した板状の大きな根を作ります。
 幹：表面はざらざらで、灰色またはうすい茶色をしています。
 葉：楕円形した葉の先はとがっています。うら側は灰白色をしています。
 花：房状に鐘型の小さな花をつけます。
 実：楕円形をした実のはかたい殻で覆われています。ウルトラマンの頭に似ています。

シマシラキ *Excoecaria agallocha*



根



葉



花



実

特徴
 根：タコ足のように根を張ります。
 幹：灰褐色で遠くから見ると白っぽく見えます。
 葉：楕円形で厚く、互生で、光沢があります。また、ちぎって出てくる白い液は有毒です。
 花：雌雄異株で、雄花は穂状で花を密生し、花時に直立する。雌花は子房が球形で花柱が3個で先端のみが開出する。
 実：朔果で押しつぶされた球形です。

別名 オキナワジンコウ

ミスガンビ *Pemphis acidula*



葉とがく筒



実



花

特徴
 根：根は地上に出ていません。
 幹：小枝には密に灰白色の伏した短毛があります。
 葉：楕円形で厚く対生し無柄です。また、両面で光合成ができる仕組み(等面葉)になっています。
 花：白色又は紅色でほぼ周年咲きます。
 実：朔果で倒卵形です。大部分はがく筒に包まれています。

ミモチシダ *Acrostichum aureum*

絶滅危惧 B類



葉



特徴
 根：根茎は塊状で大きく直立し鱗片をつけます。
 葉：葉柄は太く大きくわら色で、葉身は大型で単羽状です。葉片は柄があり狭長楕円形でやや厚くて多肉質です。また、上部の裏面一面に胞子嚢をつけます。